

# 令和7年度入学対象 就学相談

台東区教育委員会 学務課 特別支援学級担当

# 目次

## \* 就学相談について

- ・概要
- ・対象

## \* 就学相談の流れ

## \* 学習環境について

- ① 都立特別支援学校
- ② 特別支援学級
- ③ 通常の学級 + 特別支援教室
- ④ 通常の学級 + 通級指導学級
- ⑤ 通常の学級

## \* 就学支援シート

## \* 就学相談についての問い合わせ先

# 就学相談について

## ◆概要

小学校／中学校へ就学されるお子さんにとって、最もふさわしい教育が受けられるように、保護者と教育委員会が一緒に行う相談です。

## ◆対象

- ・令和7年4月に小学校・中学校に就学予定である
- ・障害や発達面・学習面の課題がある
- ・就学相談申し込み時点で台東区に住民登録がある

※特別支援学校・特別支援が急への入学を希望される方は、就学相談が必要です。

※現在他の地域にお住まいで、次年度台東区へ転入予定の方は、現在お住まいの地域の教育委員会へご相談ください。

# 就学相談について

## ◆対象

- ・心身の発達に障害のあるお子さん
- ・在籍園・ご家庭での行動や様子に不安や心配のあるお子さん
- ・学校生活において教育的な配慮を必要としているお子さん

集団生活の中で周囲と同じペースで動くことが苦手で、在籍園でサポートの先生(支援員)がついている

好奇心旺盛で、体の動きが多く、安全管理に配慮がいる

制作時に時間を要したり、書字が苦手だったりする

友だちとトラブルになりやすく大人の橋渡しが必要

食事や排せつ面で大人のお手伝いが必要

感覚面の過敏さや勝ち負けへのこだわりから、集団活動への参加が難しい



課題に応じた学習環境を検討するための相談

## 就学相談について

### \*\*注意事項\*\*

※心身の発達についての心配はなく、通常の学級のみを希望されている場合は、相談の対象ではありません。

※心身の発達についての心配はないけれど、アレルギーや疾患などがあり、学校生活で配慮が必要なお子さんの場合は、入学予定の学校と直接ご相談ください。

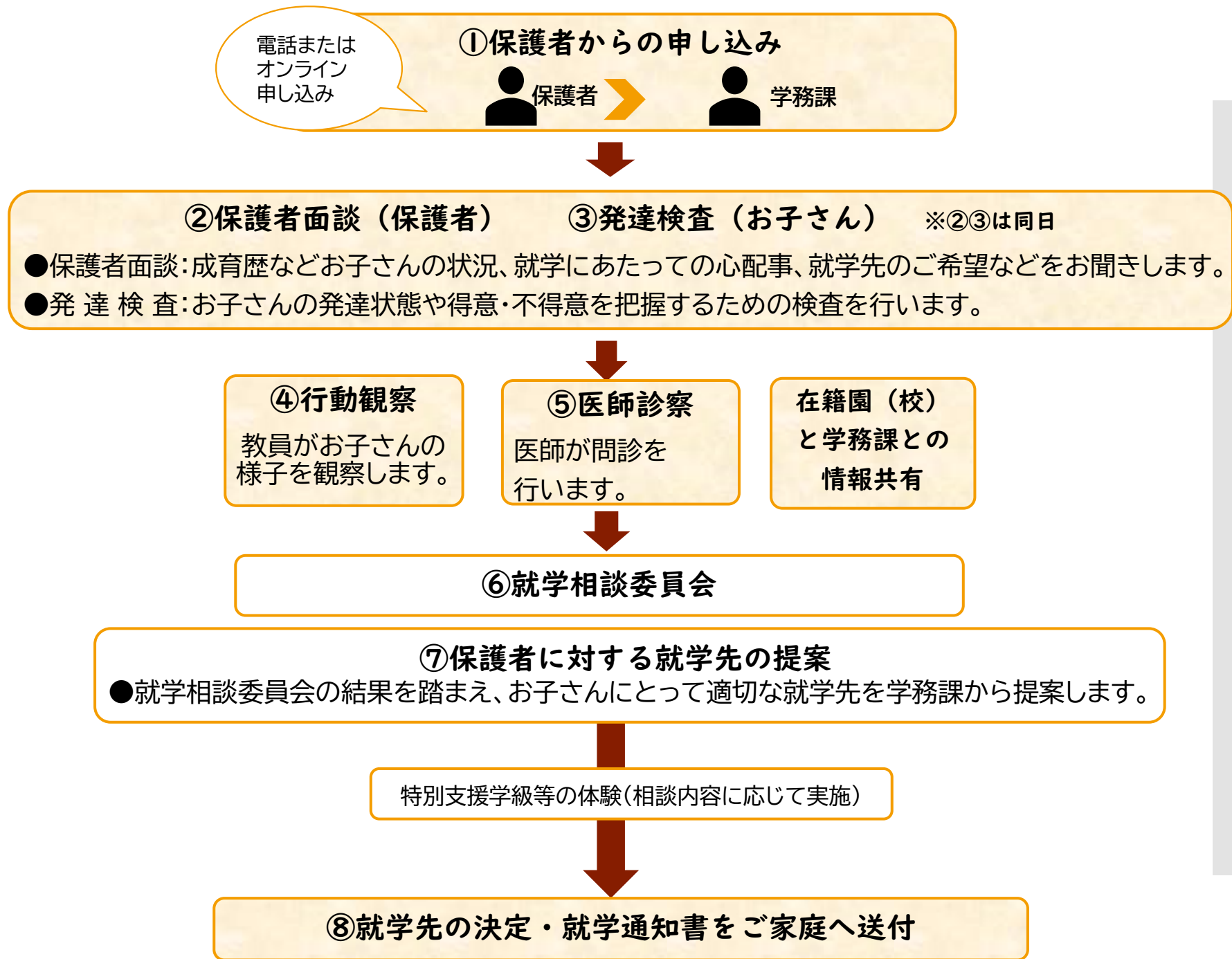
※学習環境の検討についての相談ですので、支援員や補助の職員をつけるか等の相談ではありません。

※区立学校における医療的ケアに関するご相談は下記へお問い合わせください。

台東区教育委員会学務課 特別支援学級担当(医療的ケア担当)  
住所:台東区東上野4丁目5番6号  
電話:03-5246-1416

# 就学相談の流れ

※場合によっては、右記のように進まないこともあります。



# 就学相談の流れ

## \*\*申し込み\*\*

### ◆申し込み方法

下記URL、またはお電話にてお申し込みください。

URL: <https://logoform.jp/form/sQhE/469706>

TEL: 03-5246-5838



### ◆申し込み時期

5月1日(水)～10月31日(木)

### ◆問い合わせ先

台東区教育委員会学務課特別支援学級担当(就学相談担当)

住所: 東京都台東区西浅草3丁目25番16号 生涯学習センター5階

電話: 03-5246-5838

## 学習環境について

校種	就学相談の必要性
① <u>特別支援学校(都立)</u>	就学相談の申し込みが <u>必要</u>
② <u>特別支援学級(知的)</u>	就学相談の申し込みが <u>必要</u>
③ <u>通常の学級 + 特別支援教室</u> (新小学校1年生のみ就学相談にて相談可)	<u>就学相談</u> 、または入学後学校と相談の上で申請が <u>必要</u>
④通常の学級 + 通級指導学級	通級指導学級のある学校への相談が <u>必要</u>
⑤通常の学級	就学相談の申し込みは <u>不要</u>



# 学習環境について

## ①都立特別支援学校

- ◆東京都の教育委員会が運営主体です。
- ◆台東区在住のお子さんの通学の対象は以下の6か所です。
- ◆対象となるお子さんは学校によって異なります。

都立墨東特別支援学校 (小・中・高等部)	体の不自由なお子さんのための学校です
都立墨田特別支援学校 (小・中・高等部)	知的発達に遅れがあるお子さんのための学校です。
都立城東特別支援学校 (小・中学部)	※居住エリアにより学区が定められています。 秋葉原/浅草橋/蔵前1丁目/台東1丁目/柳橋…城東 上記以外…墨田
都立葛飾盲学校 (幼・小・中学部)	目の不自由なお子さんのための学校です。 (他、久我山青光学園があります)
都立葛飾ろう学校 (幼・小・中・高等部)	聴力に障害のあるお子さんのための学校です。 (中央ろう学校は、中・高等部のみです。)
都立大塚ろう学校 (幼・小学部)	

特別支援学校の学習指導要領をもとに、  
お子さんひとりひとりの状態に応じて教育課程を編成します。

## 小学部時間割(一例)

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	自立活動				
3	自立活動	図画工作	音楽	生活単元 学習	生活単元 学習
4	日常生活の指導(給食)				
5	自立活動				
6	下校 (13:55)	自立活動	下校 (13:55)	下校 (13:55)	下校 (13:55)
7		カリヨン タイム			
		下校 (15:35)			

### ①都立特別支援学校

#### 活動の内容 ＜肢体＞

##### ＜教育目標＞

- やさしい心と元気な体をつくる
- 意欲をもって進んで学ぶ
- 自分で考え責任をもって行動する
- みんなで仲良く協力する

※学校説明会の予定については学校のHPに掲載されます

## 小学部時間割(一例)

	月	火	水	木	金
8:55~9:30	日常生活の指導				
9:30~10:00	体育				
10:00~10:30	社会性の学習				
10:30~11:20	音楽	音楽	生活単元 学習	国算	図画工作
11:20~12:10	体育	国算		体育	
12:10~12:25	日常生活の指導				
12:25~12:55	給食				
12:55~13:15	日常生活の指導				
13:15~13:35	休み時間				
13:35~13:55	日常生活の指導				
13:55~14:05	下校 14:05	下校 14:05	日常生活 指導	下校 14:05	下校 14:05
14:05~14:35					
14:35~14:45			下校 14:45		

### ①都立特別支援学校

#### 活動の内容 ＜知的＞

##### ＜教育目標＞(一例)

- 健康でじょうぶな体を育てる
- 豊かな感情や自分の気持ちを表現する力を育てる
- 豊かに人とかかわる力を育てる
- 基礎的な学力を育てる
- 身のまわりのことができる力を育てる

※学校説明会の予定については学校のHPに掲載されます

# 学習環境について

## ①都立特別支援学校

### \*副籍交流

- ◆特別支援学校へ通う場合、居住する地域の小・中学校に副次的な籍(副籍)を置きます。
- ◆いろいろな交流を通じて、居住する地域とのつながりを継続していきます。
- ◆特別支援学校を希望されている保護者には、交流の程度について希望をお伺いします。

- 間接的な交流(例)・・・学校だよりの交換、お手紙交換  
自己紹介カードを地域指定校に掲示  
展覧会への出展など
- 直接的な交流(例)・・・学校行事等の見学・参加  
授業等への参加など

# 学習環境について

## ②特別支援学級

◆1つのクラスに在籍し、お子さんの特性や発達段階に合わせた指導が受けられます。

◆対象:

- 知的な遅れがあり、他者との意思疎通に軽度の困難さがあるため、日常生活を営むのに一部援助が必要な児童
- 身の回りのことはある程度1人で行うことができる児童
- 少人数の集団活動の中で、教員からの言語指示で、ある程度活動することができる児童

※お子さんの特性や発達段階を確認しながら、委員会で総合的に判断します。<sup>13</sup>

# 学習環境について

## ②特別支援学級

- ◆学区はなく、下記の学校の中から選んでいただきます。一部小規模校のため、受け入れられる児童数に限りがあり、希望された学校へ入れないこともあります。
- ◆見学の際には複数の学級をご覧くださいたくことをお勧めしています。

小学校	東泉小学校 そよかぜ学級
	蔵前小学校 ひまわり学級
	松葉小学校 ひまわり学級
	金竜小学校 かたばみ学級
中学校	柏葉中学校 5組
	浅草中学校 A組

## 小学生 時間割(一例)

	月	火	水	木	金
	朝の会				
1	音楽	国語	国語	音楽	算数
2	音楽	体育	算数	体育	体育
	中休み				
3	国語	算数	体育	国語	図工
4	国語	国語	生活单元	算数	図工
	給食・昼休み・掃除				
5	学活	生活单元	道徳	生活单元	生活单元
6	下校	下校	下校	下校	図書
					下校

## ②特別支援学級

### 活動の内容

#### <教育目標> (一例)

- 興味を持って学ぶ子
- みんなと仲良くできる子
- 丈夫な体をつくる子
- 自分で考え、自分のことは自分でやる子

## 指導内容の例

### <生活单元>

買い物、手作業、  
校外学習など

### <国語や算数>

習熟度別、個々の理  
解に応じた課題で学習

# 学習環境について

## ②特別支援学級

### \*通常の学級との交流

- ◆学校行事(運動会、校外学習、宿泊行事など)へ参加
- ◆給食時の交流
- ◆得意な科目や、体験的な科目など、参加が可能そうな科目での交流
- ◆クラブ活動、委員会へ参加

など



## 学習環境について

### ③通常の学級 ＋特別支援教室

- ◆発達障害などによる学習上または生活上の困難の改善・克服を図るため、週数時間程度、校内にある別の教室で指導を受けます。
- ◆対象：下記の条件を満たす、一部、特別な指導を必要とする児童・生徒。

- ① 知的発達に遅れがなく、通常の学級での授業におおむね参加できる
- ② 自閉スペクトラム症(ASD)、情緒障害(緘黙など)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)といった、発達障害などの特性がある

※就学相談委員会にて「通常の学級＋特別支援教室」の判断となった場合のみ、1年生4月から入室できます。就学相談を受けていないお子さんについては、入学後に学校と保護者でご相談していただきながら、入室の申請ができます。

## 学習環境について

### ③通常の学級 ＋特別支援教室

◆こんなときは相談しましょう！

落ち着きがないから授業中に座ってられないんじゃないかな

自分の気持ちをコントロールしたり発信したりするのが苦手

文字を読むのが苦手だから授業についていけるか心配

理解の面では遅れはないけれど学習に取り組みにくかったり、友だちとのトラブルがあるなどお子さんの成長や発達が気になっていたり、現在の集団生活ですでにお子さんの困りが出ているようであれば、就学相談を申し込んでください。

入学後にお子さんの困りが見えた場合は、学校と相談ができます。

## 特別支援教室の支援対象となる特性(例)

### 自閉スペクトラム症

円滑な人間関係が築けない、周囲の人が考えていることの推測が苦手等の発達の違いが見られ、一部特別な指導を必要とする程度のもの

### 情緒障害

主として心理的な要因による選択制緘黙等があるもので、一部特別な支援を必要とする程度のもの

### 学習障害(LD)

聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難があり、一部特別な支援を必要とする程度のもの

### 注意欠陥多動性障害(ADHD)

年齢あるいは発達に不釣り合いな不注意や衝動性、多動性の状態等があり、一部特別な支援を必要とする程度のもの

拠点校から教員が各学校を巡回し、  
学校内の別教室で支援が受けられます。

	特別支援教室名	巡回する学校(拠点校)
小学校	いたどりグループ	大正小、上野小、金曾木小、千束小、金竜小
	すずかけグループ	平成小、台東育英小、蔵前小、松葉小、田原小
	あおばグループ	石浜小、東泉小、浅草小、東浅草小、富士小
	さくらグループ	谷中小、根岸小、忍岡小、黒門小
中学校	あさがおグループ	御徒町台東中、上野中、忍岡中、 柏葉中、浅草中、桜橋中、駒形中

## 学習環境について

### ③通常の学級 ＋特別支援教室

# <イメージ>

## 通常の学級

学級担任・教科担任



指導の工夫

## 特別支援教室

巡回指導教員



自立活動の指導



週に数時間程度授業を抜け、  
自立活動の授業を受けに行く

連携・情報共有

学級担任等と巡回指導教員の連携・情報共有により、  
児童・生徒のクラスにおける困難を把握し、その困難に応じた指導を行っています。

# 学習環境について

## ③通常の学級 ＋特別支援教室

### \* 指導の流れ

#### 目標

一人一人の障害の状態や発達の段階等に応じた指導目標を設定します。



#### 指導

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導(自立活動)を行います。



#### 目標の達成を確認



#### 退室の検討

お子さん・保護者・学校で退室後の在籍学級での支援内容を確認します。



#### 退室

お子さんは在籍学級での支援を継続して受けます。

# 学習環境について

## ③通常の学級 +特別支援教室

### \*指導内容について

#### <指導内容の例>

- ◆ コミュニケーションのための知識を学ぶ。
- ◆ 感情や欲求を上手にコントロールする力を身につける。
- ◆ 自分の得意、不得意を知り、自分に合った学習方法を習得する。
- ◆ 他者の考えや意図を読み取る力や周囲の状況を把握する力などを学ぶ。

## 学習環境について

### ③通常の学級 ＋特別支援教室

#### \* 注意事項

- ◆希望すれば必ず使えるというものではなく、支援の必要性については、専門家による委員会で判断します。
- ◆発達障害の診断がついている児童全員が、必ずしも特別支援教室での指導が必要なわけではありません。通常の学級の中での工夫や配慮で適応できるお子さんもいます。
- ◆授業を抜けて指導を受けることが、かえってお子さんの負担になる場合もあります。児童・生徒の障害の程度や、クラス等での状況を考慮した上で、支援の必要性を検討します。
- ◆教科の補習やクラスでの学習の遅れを取り戻すための指導は行いません。
- ◆発達障害等の特性と重なる部分はあっても、集団生活での不適応が大きくない場合は、入学後の様子を見ながら、特別支援教室の利用を検討することもできます。



# 学習環境について

## ④ 通常の学級 + 通級指導学級

通常の学級に在籍しながら、  
決められた曜日、時間に下記の学校に通い、指導を受けます。  
聞こえや構音などの指導は区内通級、  
見えにくさなどの指導は区外通級となります。

難聴・言語	小学校	黒門小学校(きこえとことばの教室)
	中学校	柏葉中学校(難聴通級指導学級)
弱視	小学校	他区弱視通級指導学級
	中学校	他区弱視通級指導学級
	小中学校	都立葛飾盲学校

# 学習環境について

## ④ 通常の学級 + 通級指導学級

### ◆ きこえとことばの教室の対象児童:

- ① 通常の学級に在籍
- ② 知的発達に遅れがなく授業におおむね参加できている
  - 正しく発音できない音がある
  - 語彙が少ない
  - 話し始めの音をつまらせたり、繰り返したりする
  - 聞こえにくさにより、聞き返しや聞き誤りが多い
  - 補聴器や人工内耳をつけている

など

### ◆ 頻度: 週に1回程度

# 学習環境について

## ④通常の学級 ＋通級指導学級

### \* 注意事項

- ◆設置校までの送迎は保護者が付き添う必要があります
- ◆きこえとことばの教室の利用については、  
黒門小学校(03-3833-4984)で受付、相談となります。

※特別支援教室かきこえとことばの教室どちらを利用すべきか判断に迷われる方は、まず就学相談をお申し込みください。

※就学相談を申し込まれている場合、学習環境として通常の学級が望ましいという判断が出てからきこえとことばの教室申し込みになりますので、就学相談の結果が出るまでお待ちください。

# 学習環境について

## ⑤ 通常の学級

- ◆ お子さん35-40名に対して教員が1名配置されます。
- ◆ 学習指導要領で学年ごとに定められている内容の指導を受けます。
- ◆ 小学校は、居住のエリアにより、就学する学校が決められています。
- ◆ 中学校は、区立中学校を自由に選べる学校選択制を実施しております。  
※希望者が多数の場合には、学区域が優先されることもあります。

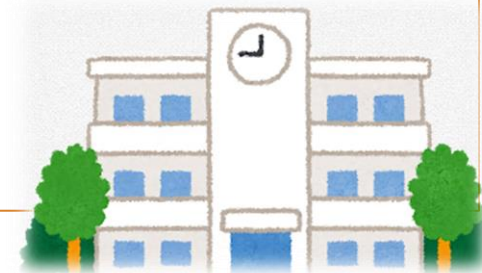
# 就学支援シート

- ◆ 小学校・小学部へ、現在のお子さんの状況を共有していく方法として、「就学支援シート」があります。
- ◆ 保護者と、お子さんに関係する機関が協力して作り上げていきます。
- ◆ 小学校、小学部へ就学される方はどなたでも作成することができます。
- ◆ 就学相談の対象ではないけれど、少し配慮があると集団生活がしやすくなるというお子さんも活用されています。

# 就学支援シート

## \*学校での活用

- ◆日常生活でのお子さんの困り感が共有できることで、配慮・指導のときの参考になる
- ◆対応に困る場面でのサポート方法を事前に検討している
- ◆教員がお子さんを理解するときに役立つ
- ◆個別の指導計画作成時の参考になる
- ◆就学支援シートを基に、お子さんへの関わり方について、幼稚園・保育園と連携できた 他



# 就学支援シート

## \*配布場所

- ◆配布場所:台東区HP、就学相談窓口(生涯学習センター内5階事務室)、学務課(台東区役所6階2番窓口)、松が谷福祉会館など
- ◆作成おすすめ時期:12月~2月頃

※就学相談をお申し込みの方は相談の中でお渡しします。

※松が谷福祉会館へ通われているお子さんは、松が谷で配布しています。

区のホームページでダウンロード または、  
就学相談窓口、松が谷福祉会館などで入手

保護者  
成育歴等を記入

幼稚園、保育園、  
子ども園

松が谷福祉会館、  
療育機関 等

お子さんに関わる機関へ保護者から記入の依頼をしてください

就学先の学校へ  
※就学通知書が届いた後、  
学校へ連絡をしたうえでご持参ください

取扱注意

令和3年度入学

新しい学校に支援を引き継ぐために

— 台 東 区 —

## 就学支援シート



子どもには、さまざまな個性があり、豊かな可能性があります。小学校等への入学を迎え、幼稚園・保育園・認定こども園・療育機関や家庭などで今まで大切にしてきたことや、就学先の学校に引き継ぎたいことがあれば、教えてください。一人一人のお子さんが、新しい環境でも今まで培ってきた力を十分発揮できるようお子さんに必要と思われる支援や配慮について、教えてください。

記入については、シートの裏面の「就学支援シートの記入にあたって」をご覧ください。

お子さんの名前	
保護者の名前	
保護者の連絡先	

- 作成・活用の過程を通じて、個人情報の保護・管理の徹底をお願いします。

台東区教育委員会



就学相談  
についての  
問い合わせ先

台東区教育委員会学務課  
特別支援学級担当  
(就学相談担当)  
**03-5246-5838**

ご不明な部分や、ご不安なことなどがございましたら、  
お気軽にお問い合わせください。